



横土計第 3 号
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省道路局
局長 宮田 年耕 様

横須賀市長 蒲谷 亮



中期的な計画の作成にあたっての意見について（回答）

貴職におかれましては、常日頃、本市道路事業には特段のご配慮をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号により依頼のありました標記の件について、別紙のとおり回答いたします。

（事務担当は、土木みどり部交通計画課国県道計画推進担当）

電話 046-822-9538

＝中期的な計画に関する意見について＝

1. 重点化を進める上で特に優先度の高い政策

産業経済活動と地域活性化に資する交通混雑対策と災害時における安全性確保のための広域幹線道路整備

- (1) 横須賀市は、半島や丘陵の地形であるため広域圏と連絡する一般道路は東京湾側では国道16号、相模湾側では国道134号のみに依存しており、道路交通網が脆弱である。
このため市内中心部では慢性的な交通混雑により産業・経済活動が阻害されるなど地域活性化の支障となっている。
- (2) また、災害時における多重安全性の確保のため、一部の道路に頼りきるのではなく、その機能を補完、代替する新たな道路交通ネットワークの構築が急務となっている。
- (3) 具体的には、東京湾側における国道357号の夏島から市内中心部への延伸及び相模湾側における国道134号を補完する三浦半島中央道路Ⅱ期区間の早期事業化である。

2. 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- (1) 災害時における安全性の早期確保など緊急性の高い路線については、地方自治体の財政負担なしにスピードアップを重視した集中的な整備投資を図る。

3. その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関するご意見

- (1) 国庫補助対象事業で整備した道路については、改築や更新工事に対して、国庫補助金の充当を図る。